

スペイン・フランス 2014.07.25 ~ 2014.08.13

■ 2014.07.25 フランスへ出発 ■

今年の夏は、フランス&スペインを旅することにした。とは言っても、スペインの訪問都市はバルセロナのみ。私にしては珍しくフランス一カ国のぶらり旅である。

秋田空港 9時40分発のフライト(ANA)で羽田。リムジンバスで成田空港。

13:55発のフライト(ANA)でパリに向かう。飛行機は予定よりも45分も早く到着。

ターミナル1から2に移動して、明日の列車TGVのチケットを予約。予約出来たのは、パリのリヨン駅から出る列車。がびーん。(T_T)空港近くのホテルをとった意味がない。

気を取り直して、ホテル行き無料シャトルバスを待つ。すぐに乗車でき、ラッキー。(^^)v

B&Bホテル泊。無料Wi-Fiありがたい。成田の免税店で買ったスコッチを飲んで、爆睡。(*^^*)



【ANA機内食】



【B&Bホテル】



■ 2014.07.26 ペルピニャン〜バルセロナ ■

朝5時発無料シャトルバスで、空港へ。フランス・レイルパスの開始手続きをしてもらう必要があるのだが、早朝のため、チケット窓口は閉じたまま。どうしたものかと途方に暮れ、たまたま通りかかった航空関係者とおぼしき方に声をかけた。彼は、親切にもパリ行きRERのチケットの買い方と乗る電車を教えてくれた。25分くらいでパリ北駅到着。乗り換えてリヨン駅。ここのチケット売場でレイルパス開始手続きを済ます。7時15分発TGVでペルピニャンへ。12時8分到着。

バルセロナ行きのチケットを購入。2等は満席のため、仕方なく1等。(*_*)

待ち時間が結構あったので、ペルピニャン市内観光。駅からまっすぐの道を歩いていくと旧市街。運河沿いに綺麗な花が咲き、癒やされる。静かでない街だ。写真は、カスティエ門。

15時13分発の列車でバルセロナ。地下鉄を乗り継いでホテルへ。駅から100mくらいなのに探すのに苦労した。道を尋ねたスペインの人は皆、親切だった。ホテルを教えてくれた女性のBARで生ビール。いさちゃんの酒場放浪記、開始です。(^^)v



【カスティエ門】



【ペルピニャン旧市街】



【バルセロナ地麦酒Moritz】

■ 2014.07.27 バルセロナの地ビール ■

タバ飲んだ美味しい生ビールは、Moritzというバルセロナの地ビールでした。喉の渇きを癒すため、こまめにビールを呑みます。バルセロナ観光といえば、サグラダファミリア。真っ先に向かったのですが、あいにく日曜日で長蛇の列。考えが甘かったですね。(≥▽≤) 翌日のリベンジを誓い、他を観光することに。大聖堂その他、見るべきものが沢山ありました。

アイパッド・ミニの電源ケーブルを持って来なかったため、こちらで買おうとしたのですが、苦労して見つけた店は、2軒とも売り切れ。3軒目でようやくゲット。こんなことなら、フランスの駅の売店で買って置くんだった。値段の違いは、僅か0.5ユーロ。とほほです。



【サンミゲル】



【Moritz 生麦酒】



【リトルボコボコでカップ麺】



【大聖堂入り口】



【大聖堂内部】



【大聖堂前広場で踊る人々】

■ 2014.07.28 サグラダファミリア ■

昨日の轍は二度と踏むまいと、朝 8 時に並ぶ。開館 1 時間前に並んでいた人は 20 人弱。

待っている間、関係者と思しき人物が、「チケットを持って無い人は、12 時 15 分以降の入場になる見込みです。」と、英語で言って歩いていた。まあいいか、一度ホテルに帰って、また来よう。

9 時 3 分、タワーにも登れるチケットを購入。渡されたチケットを見ると、入場は 9 時から、タワーに登れるのは 9 時 15 分から、とある。さっきの野郎は何だったんだ！？

入場してすぐに、タワーに登るエレベーターへ。見晴らし最高。至近距離で塔のデザインが見られたのも GOOD。歩いて降りるのは結構タイヘンでしたが…。^_^;

教会内部、そして博物館も見所満載。スタンドグラスがとても綺麗でした。



■ 2014.07.28 ホテル選びは大事だなあ ■

2 泊したホテルをチェックアウト。エアコンがなく、奇怪な扇風機のみ、部屋も狭い。

ネットの写真と大違い。B&B と値段はたいして変わらないのに、これはないよねえ。

60 ユーロで泊まれる四つ星を見つけたので、そちらに移動。チェックインして驚いた。

「ギジェルモテル」は素晴らしい。どうしてこんなに安く泊まれるんだ？ 超ラッキー。

何よりも、バスタブが嬉しいねえ、日本人には。

余りに気に入ったので、もう一泊することにしました。

シングルはなく、74 ユーロだけど、もっと広い部屋だから良しとしよう。(*^_^*)

夜は近くの BAR で生ビール。お薦めのソーセージを頂きました。



【ロビー&レストラン】



【バスタブ付きの広い部屋】



【生ビールにソーセージ】

■ 2014.07.29 グエル公園 ■

バルセロナがすっかり気に入っちゃったボク。あくせく観光せず、ゆったりと旅行を楽しみたいものです。てな訳で、今日の観光はガウディ作品が数多く残るグエル公園へ。建築物にも、すごい人の数にもビックリ！

ところで、スペイン料理といえば、パエリア、ですね。本場の味を堪能いたしました。

勿論、美味しい地ビールとともに (*^_^*) ちなみに、同じ都市に4泊もするのは珍しいんですよ、僕の場合。でも明日早朝、スペインを離れます。



【グエル公園入り口】



【グエル公園展望スペース】



【パエリア】

■ 2014.07.30 ニーム・アヴィニョン・アルル ■

早朝 5 時前ホテルをチェックアウト。地下鉄駅に行って唾然。始発まであと 50 分。5 時開始って書いてたのに…。仕方なく歩くことを決意。15 分ほど歩き、二つ先の地下鉄駅到着。L5 線はちゃんと動いてました。乗車 5 分ほどでバルセロナ・サンツ駅到着。窓口に並ぶと運良く TGV の席が取れた。

6 : 05 発。9:49 ニーム着。乗り換え時間が 1 時間あったのでニーム旧市街観光。古代闘技場、サンポール教会、メゾンカレなど。10:49 アヴィニョン行き TER 乗車。11:20 到着。アヴィニョン旧市街を観光する。法王庁宮殿、サン・ベネゼ橋など見どころたくさん。

12:34 TER でアルルへ。12:52 着。ホテルは旧市街観光名所近く。ホテルまでの道のりで、見どころは全部まわることができた。

ホテルに着くなり併設レストランで生ビール 2 杯。あー生き返ったー。

夕食はチキンレッグ。ビールがないのが残念。

ホテル近くのスーパーで安いワインを買い、晩酌。極楽。(*^_^*)



【古代闘技場@ニーム】



【法王庁宮殿@アヴィニョン】



【サン・ベネゼ橋@アヴィニョン】



【古代闘技場@アルル】



【チキンレッグ】



【可愛いお部屋】

■ 2014.07.31 マルセイユ ■

今も昔も、フランス最大の貿易港マルセイユ。世界の港を渡り歩く「マドロスいさちゃん」としては、訪れない訳には行きません。降り立ってビックリ。まず、駅がいいです。

有名な遺跡と言っても、驚きはないかも！？ 港や街並みは、イタリアのジェノバと雰囲気が似ているように感じました。

夕食は、中華料理。自分で選んで食べられるのが良かった。

日本食が恋しくなっても、こいつでガマンだい！



【マルセイユ駅】



【マルセイユ港】



【中華料理】

■ 2014.08.01 モナコ&ニース ■

TERでニースへ。今宵の宿ホテル・ベルヌは駅前にあり、すぐに見つけることができた。

まだ 11:30 なのにチェックインしてくれ、ありがたかった。しばし休憩。

モナコ公国までは、TERで22分。何、公国だって？そ当然了、モナコはれっきとした国なんです！（◎_◎;）これで、目出度く61か国目の達成であります。パチパチパチ。（*^^*）

高級リゾート地なので、宿泊は断念。やむなく日帰り訪問に。

見どころは、大公宮殿のあるモナコヴィル地区。旧市街の丘の上から見る景色が特に良かった。

「モンテカルロで乾杯」(by 庄野真夜)を思わず歌ってしまいました。（*^^*）

その後、ニースに戻り、旧市街観光。まずは、ジャン・メドサン大通りを歩いて、マセナ広場。

右に曲がると、豪華ホテルが軒を並べるプロムナード・デザングレ(イギリス人の散歩道)。

昔ヒットした歌「ネグレスコ・ホテル」って、ニースにあったんですね。ちょっとロビーを覗こうとしただけなのに、邪険にブロックされちゃいましたけど…。(涙…)

海岸には大勢の水泳客。みーんなのーんびり過ごしている。ホテルそばには、スーパーもレストランもたくさんあり、至って便利。マルセイユと同じ中華料理の総菜屋さんが駅前にあって驚いた。

今日もこれにしようっと。（*^^*）暑くて、ビールを4本も飲んじゃった。^_^;



【モナコ港】



【大公宮殿@モナコ】



【グレースケリー大聖堂@モナコ】



【ニースの海岸通り】



【ネグレスコ・ホテル@ニース】



【今日も中華料理】

■ 2014.08.02 リヨンへ ■

朝、6時半。リヨン行きのTGVを予約しようと、駅へ。

「チケットはない」と、窓口のおばさんに邪険に扱われる。ふんだ。TERで行ってやる。

時刻表を見たら6:54発があった。急いで荷物を取りにホテルに戻る。

荷造りしておいてよかったあ。ニースからマルセイユ行きの列車に飛び乗る。

9時半過ぎ、マルセイユ到着。ここからなら、TGVのチケットが買えるだろう。

窓口で並んで、さあ購入、と思ったら、32ユーロも追加だと。

フランスレイルパスを持っていてもこの値段。何で？

そーか、なるほど、今日は土曜日だからかあ。ふんだ。TERで行ってやる。

時刻表を良く見ると11:06発、リヨン行きの直通列車があるではないか！ ついてるなあ、僕は。

発車まで、あと1時間。冷たいビールを飲んでひと息つく。リヨンへまでの道のり、ローヌ川沿いの風景に癒やされる。列車は、14:40到着予定が少し遅れ、3時過ぎに到着。

リヨンはあいにくの小雨。今回の旅行中、初めて折り畳み傘を使う。

ホテル・デュ・テートルにチェックイン。バスタブ付きの広い部屋が気に入り、「もう一泊したい、同じ値段でOK？」と交渉。見事成立。

部屋にエアコンはなく、扇風機のみだが、リヨンは涼しいので必要なし。

この地方の夏は一般に涼しく、避暑地なんだそう。ずーっと暑い都市にいた身にとってはありがたい。観光はせず、ビールとワインを飲んで、ひたすら休養。^_^;



【リヨン川に浮かぶボート】



【フランス日新のカップ麺】



【嬉しいバスタブ】

■ 2014.08.03 リヨン旧市街観光 ■

旅の疲れを取るため、午前中は完全休養。何度も繰り返しバスタブに浸かり、貴族の気分。

ここまでの旅の整理をする。クレジットカードで支払った交通費。60ユーロ。

ホテル代金は10泊合計570ユーロ。1泊平均57ユーロ(約7900円)

自分なりに、出来るだけ安めのホテルを選んでいるつもりだが、結構高いなあ。

午後2時。ふらふら散歩しながら観光開始。リヨン旧市街は世界遺産である。

天気がいいので、みんな外のテーブルで食事をしている。1時間ほどで観光終了。

今宵のお酒とビールを買いに、スーパーへ。と、ところが…。シャッターが閉まっている。

日曜なのに休業なんて、あり得ん！！すかさず、別の店に行くボク。しかし…。

レストラン以外の全ての店は休業の様。かなり歩き回って探しても同じ結果…。

日曜だから休業なのね、リヨンは。フランスと日本の文化の違いを痛感させられました。

気を取り直して、レストラン街で生ビール。美味しい！(*^^*)



【ノートルダム大聖堂】



【サン・ジャン大聖堂】



【石畳の道路】

■ 2014.08.04 トゥール ■

リヨンからトゥールへ。直通インターシティがあるんですね。8:54 発 14:47 着。
途中の景色がすごく良い。もっともフランスらしい土地、と言われるのも納得ですね。
ホテルのチェックインが 17:00 からと、遅い上、ロビーに鍵がかかっている。
荷物を持ったまま旧市街観光に。ま、たいして重く無いんだけど。
帰り際に、BAR に寄って生ビール。酒場放浪が板について来たなあ。



【トゥール市庁舎】



【サン・マルタン聖堂】



【兎にも角にも生ビール】

■ 2014.08.05 ル・マン&レンヌ ■

トゥール発 9:06 のインターシティでル・マン 10:24 着。「ル・マン」といえば、映画「栄光のル・マン」を思い出す。確か、スティーブ・マックイン主演だったような。
レンヌ行き TGV の座席予約は 12:06 の列車しか取れなかった。フランス国鉄は、列車によって値段が変わるシステムなのではないか。9ユーロの追加で乗れるなら、ラッキーだ。
1時間半の乗り継ぎ待ち時間に生ビール。
13:30 レンヌ着。早速切符窓口へ。明後日のパリ行き TGV の座席を予約。
高いだろうなあと思ったら、たったの3ユーロ。どうなってるの？
このホテルも 15:30 のチェックイン・タイムまで鍵かけて、一切応じないシステム。
昨日に続き、ディパックを背負ったまま観光。チェックインして、また生ビール。^_☆



【生ビール@ル・マン】



【レンヌ旧市街】



【サンピエール大聖堂@レンヌ】

■ 2014.08.06 モンサンミッシェル ■

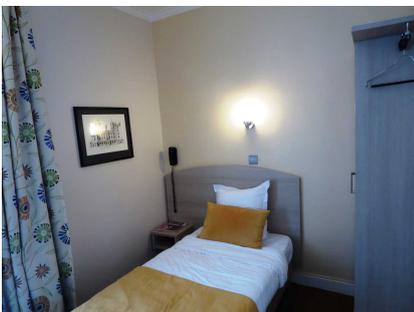
今回の旅、三大目的は、①サグラダファミリア、②モンサンミッシェル、③ルーブル美術館。
特に見たかったのが、ここ、モンサンミッシェルだ。
レンヌ駅横のバスターミナルで、チケットを購入。往復 25.4ユーロ。9:45 発 11:00 着。
バスは島手前の駐車場まで。ここからは無料シャトルバスで向かう。

あいにくの雨で、霞んでしか見えない。突出門を通過して城内へ。
 そう、モンサンミッシェルは城、あるいは要塞と言った方がふさわしいかもしれない。
 王の門には、侵入者を防ぐ跳ね橋がある。島のメインストリート、グランド・リュの土産物屋やレストランには目もくれず、修道院へ。入場料9ユーロ。
 上階から、回廊、西のテラス、修道院附属教会、騎士の間、大車輪、サンマルタン礼拝堂、大階段など。見どころ満載。その作りは、まるで日本の城の天守閣を思い出させる。
 美しいのだが、同時に防御施設としての強さも持つ、そんな感じを受けた。
 修道院の後は、城壁をゆっくり歩いて廻る。15世紀、百年戦争時、イギリスに対抗するために作られたとのこと。島全体が難攻不落の砦だったのである。
 帰りはシャトルバスを利用せず、プロムナードをゆったり歩く。海風が心地好かった。



■ 2014.08.07 パリへ ■

レンヌ 9:33 発の TGV でパリへ。パリまでは2時間ちょっとで着いてしまう。
 パリ、モンパルナス駅に11:44着。メトロ12号線に乗り換え、ホテルのある駅にむかう。
 メトロは回数券がお得だということで、自動販売機で10回券を購入。何故か20枚出てきた。
 6号線への乗換え駅で愕然。6号線の看板に赤いテープが斜めに貼ってある。
 つまり、僕が向かう先の駅は封鎖ってこと。しょうがない、10号線の駅まで歩こう。
 と、歩き出す。300m先にあるはず。ところが、いつまで歩いても駅がない。
 どうやら逆方向に歩いてしまった模様。戻って、ようやく駅発見。再びメトロに乗る。
 目的駅に着いたら、今度は大雨。雨が邪魔して地図を開けないため、ホテル探しに手間取る。



【シンプルなお部屋】



【スーパーで食料調達】



【リトルボコボコ大活躍】

なんとかチェックイン出来てほっとしたのも束の間、ホテルのWi-Fiが繋がらない。
 1時間後再度試みるも同じ。フロントに申し出るが、埒が明かない。きっとサーバーの不具合だ。
 「Please reboot your server」(サーバーを再起動して下さい。)と、主張。すると目出度く認証成功。
 (我ながらすごいなあ、自画自賛) (o^^o) トラブル続きの一日でした。

フランスのレストランは、夜は8時開店。昼食が終わる午後2時くらいからその時間まで、店は閉まったまま。こういうところに馴染めないボクは、さっさとスーパーで食料を買って、晩酌しちゃうんです。電気湯沸かし器「リトルポコボコ」が、今回も大活躍。茹で卵作りにも成功しちゃった。

■ 2014.08.08 エッフェル塔界限 ■

宿泊したホテルは、エッフェル塔まで1キロちょっとの好ロケーション。

ホテルを12:00にチェックアウトし、パリ観光のスタートだ。

まずは、ホテルのすぐそばにある「アンヴァリッド」

ドーム教会には、ナポレオンの墓があることで有名だ。次に、エッフェル塔に向かう。

20年前に来たはずだが、なーんも覚えてないもんだなあ。すごい人だかり。タワーに登るための長〜い行列が出来ていた。行列を尻目に、イエナ橋を渡り、セヌ川を眺める。

対岸には、シャイヨー宮がある。ここから眺めるエッフェル塔が一番素晴らしい。

メトロで今宵の宿のあるバラール駅へ。ホテルの近くに、日本食の店が2軒。中華料理が2軒。

昼は中華、夜はお寿司をいただく。まずまずの味。醤油の味が沁みるなあ。



【アンヴァリッド・ドーム教会】



【エッフェル塔】



【セヌ川船着場】

■ 2014.08.09 ルーブル美術館 ■

いさちゃんが、何故、海外バックパッカーの旅を始めたか。

それは、ルーブル美術館での経験から始まったのでした。じゃんじゃん。

2回目の海外旅行、ツアーで訪れたこの美術館で与えられた時間は90分。鑑賞どころではなく、走って、有名な絵や彫刻の写真を撮って終わりでした。

こんなのは嫌だ、自分が気に入ったところは好きなだけ時間をかけたい。

この次は、絶対に個人旅行でルーブル美術館に来るぞー!! 20年経って、実現できました。(o^o)



■ 2014.08.10 パリ名所巡り ■



【凱旋門】



【おー シャンゼリゼえ】



【コンコルド広場】

凱旋門からシャンゼリゼ大通りを歩く。フランスらしいセンスの良い店が連なる。

コンコルド広場まで、一直線の道のり。広場で写真を撮っていたら、「サインをお願いします」という若い女が沢山。人の観光を邪魔するんじゃない、と無視。でもこいつら、かなりしつこい。

おかしいと思って後で調べたら、スリ集団だとのこと。くわばら、くわばら。

さらに歩いて、オペラ地区へ。マドレーヌ教会。そしてバレ・ガルニエ。メトロでモンマルトルへ。サクレ・クール大聖堂は、しっかり覚えてました。

ホテルに戻って夕食。ご覧のとおり、またまた中華料理。

フランス料理は今回、未だに食べておりません。^_^;



【マドレーヌ教会】



【サクレ・クール大聖堂】



【メトロ出入り口】



【センスのいいホテル】



【レストランで中華料理】



【持ち帰りも中華料理】

■ 2014.08.11 シテ島界限 ■

メトロでシテ駅下車。まずはサント・シャペルへ。凄い行列で館内見学は断念。

次にコンシェルジュリー。一見お城、実は牢獄とのこと。

有名なノートルダム大聖堂、ここも凄まじい人だかり。

人混みを避け、隣のサン・ルイ島をゆっくり歩く。「愛の南京錠」で有名なポンデザール橋も。重さで橋が壊れないか心配…。

再びメトロで、ルーブルへ。公園を歩き、コンコルド広場。

メトロ駅を探してちょっと迷ったらエルメス本店があった。



【サント・シャペル】



【コンシェルジュリー】



【ノートルダム大聖堂】

モンパルナス駅下車。レストランで、今回の旅では初めてのフランス料理。

「タルト・フランベ」は、アルザス地方の郷土料理。

小麦粉を練った生地を具に乗せ、オーブンでパリパリに焼き上げたもの。美味でした。

量が多くて食べ切れませんでした…。^_^;



【愛の南京錠】



【モンパルナスのレストラン】



【タルト・フランベ】

■ 2014.08.12 帰国の途につきました ■

9:15 発の全日空機で、フランクフルト。乗り換えて羽田へ。13日 6:35 到着予定。

■ 2014.08.13 帰国しました ■

午前 6 時半、羽田空港に到着しました。今回も、無事に帰れたことに感謝です。
秋田便出発まで、6 時間 55 分待ち。あと、5 時間 40 分。
空港ラウンジが無料で使えて助かってます。^_☆